

学校だより 笑顔 本小つ子Ⅲ

11月号⑩
2025.11.20(木)

少年の主張



文責 本宮小校長 佐久間仁

二十三日（日）にサンライズもとみやにおいて、本宮市青少年健全育成推進大会が開催されます。この大会は、学校・家庭・地域が一体となって青少年健全育成市民運動の充実を図ることを目的として行われます。大会の第一部では、市内の小・中・高校生が日頃考えていることや感じていることを、「少年の主張」として発表します。第二部では、記念講演としてSDGsサイエンスショーが予定されています。入場は無料で、どなたでも観覧できますので、ご都合のつく方はお越しください。

「少年の主張作文（本宮小代表）
あいさつが人の輪を広げる

六年 高西 耀太

みなさんは、日常生活の中でどれくらいいさつをしていますか？朝、風、夜、様々な場面であいさつをすることがあると

思います。

ぼくは、日常の中でだれとでもあいさつすると、田と田が合うので、笑顔になります、その場のふんい気が明るくなりますが、あいさつをすることと、まだ話したことがあります。

ぼくの学校には、代表委員会があり、毎日朝のあいさつ運動を行っています。ぼくも四年生の時に代表委員会に所属し、あいさつ運動を行い

ました。その時にぼくは、あいさつは人と人をつなぐ大切なものであると感じました。そう感じた理由が三つあります。



一つ目は、みんなにあいさつをあるいはやった感じをつけることです。

あいさつ運動で鼻降口に立っていると、大きな声であいさつを返してくれる人がたくさんいました。元気いっぱいのあいさつが返ってくると、「今日も一日がんばろう。」と明るい気持ちになります。

また、あいさつが返ってくると、自分のあいさつが相手に届いていると安心し、自信がもてるようになります。あいさつをすることで、ポジティブな気持ちになれることが、ぼくのやりがいになっています。

二つ目は、あいさつには空氣を変える力があるということです。実際に、ぼくが通う本宮小学校では、全校生一丸となりあいさつに取り組んでいるところで、言葉にするあいさつや会話しない場面に感じたあいさつを意識してするいじで、あいさつする方もされる方も気分

がよくなると感じています。またあいさつをすると、田と田が合うので、笑顔になります、その場のふんい気が明るくなりますが、あいさつをすることで、まだ話したことがない人とも顔を合わせるきっかけとなり、明るいふんい気が広がっていきます。

三つ目は、あいさつはぼくたちの生活の中にある重要なコミュニケーションの手だんであるということです。初めてあいさつをする時には、少しのきんちょう感じ同時に、あいさつの声の大きさや明るさ、表情から「この人ははじんな人なんだね。」「人に興味をもつきかけになります。実際、ぼくが小学校に入学した時は、友達にどんな声をければよいのか分からず困っていました。しかし、

「おはよう。」

とあいさつをすると、友達も、「おはよう。」と返してくれて、話ができるようになります。今でもその友達と仲良く学校生活を送ることができます。そこからあいさつをみてください。そうすると、人の輪を築いていくために、田じゅうからあいさつを大切にしていこうという気持ちになるはずです。ぼくも、これまで以上に相手の顔を見ることや声の明るさを意識しながら、相手の心に届くあいさつをしていきたいです。



中には「あいさつがなくても、必要になれば会話はできる。」「毎日くり返す必要はない。」と答える人もいるでしょう。しかし、ぼくの経験から、あいさつこそ毎日のつみ重ねが大切だといえます。明るいふんい気を生み出し、顔と顔を合わせることで、人ととの輪を広げていきます。人ととの輪が広がれば、日常がさらに豊かになるだけでなく、非常時にも助け合いの輪を広げるにつながります。みなさんも、今の生活だけでなく、これからやってくる未来の生活を考えてみてください。そうすると、人の輪を築いていくために、田じゅうからあいさつを大切にしていこうという気持ちになるはずです。ぼくも、これまで以上に相手の顔を見ることがや声の明るさを意識しながら、相手の心に届くあいさつをしていきたいです。

お知らせ（お願い）

◇明日は、十八時よりベルマーク集会作業を行います。P.T.A.本部役員、学年委員、専門委員の皆様、お忙しい中ですが、ご協力をお願ひします。